

# HÄFELE NEWS LETTER

A Regular Newsletter  
Published by Häfele Japan K.K.

February  
2008

vol.

5

**HÄFELE**  
FINDING BETTER WAYS



## New Product Information from furniture fittings

平面フラット引き違い扉システム Sirio

製品詳細はこちら

扉を閉じた状態で左右の扉面がフラットになり、扉に段差ができないのですっきりとしたデザインの家具ができます。扉を開けると扉が手前にでてきて互いに引き違い、左右どちらの扉も1枚ずつ開閉できます。また、扉はかぶせ仕様となっているので、連続したキャビネットを設置すると、開き扉と引戸の区別なくデザインを統一することができます。それぞれ2枚扉と3枚扉システムの2種類があり、扉幅900mm用、1000mm用が標準仕様となります。扉厚は20-28mmに対応します。



株式会社ハーフェレ ジャパン

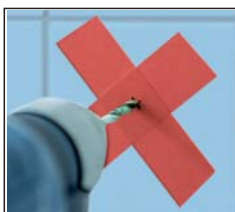


横浜本社 及び ショールーム  
横浜市戸塚区上品濃 14-17  
TEL045-828-3111 FAX045-828-3110

壁面接着固定システム

製品詳細はこちら

専用の特殊接着剤で壁にドリル穴等をあけることなく、ホルダーや様々なアクセサリを壁面に接着固定できます。12時間後に最大接着力となります。接着剤は湿気硬化タイプなので水まわりの使用に適しています。また、長時間固定した後でも工具を使って接着剤を剥がすことができ、接着跡がほとんど残りません。特殊接着剤は右記の素材に簡単に安全に取り付けられます。



【取付可能素材】  
・天然石 ・板石  
・ガラス ・コンクリート  
・スチール ・木  
・様々な種類のプラスチック



大阪営業所 及び ショールーム  
大阪市中央区南本町 1-8-14  
TEL06-6271-0251 FAX06-6271-0252

## New Product Information from Architectural Hardware

### フィンガープロテクション

毎年、特に幼い子供たちが扉と建具枠の間に指を挟まれる深刻な事故が発生していることをうけて開発された製品です。このフィンガープロテクションローラーシステムにより外開き扉が閉じる際に内側から指を挟まれるリスクを減らすことができます。常に布地に一定のテンションがかかる構造です。

製品詳細は  
オンラインカタログP127

推奨取付場所

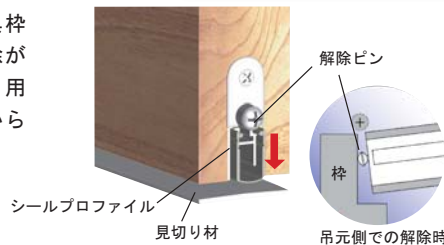
- ✓ 幼稚園や学校など
- ✓ 福祉施設や病院など



### 可動ドアシール

可動ドアシールとは扉が閉じると自動的に扉の下部の隙間をふさぐシステムです。扉を閉めると解除ピンが建具枠に当たりシールプロファイルの解除が行われ隙間をふさぎます。扉の仕様、用途などによってさまざまなタイプから選ぶことができます。

製品詳細は  
オンラインカタログP114



- ✓ 省エネルギー対策に
- ✓ 冷気や隙間風、害虫侵入防止に
- ✓ 遮光対策に
- ✓ 防煙、防火利用に  
(製各品の機能をお確かめください)

## ロングセラー製品紹介

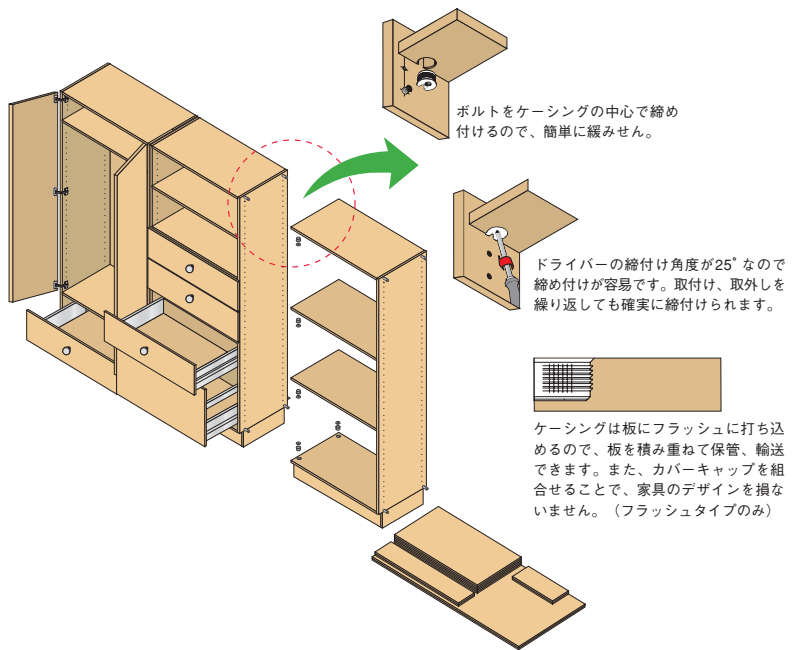
### ラフィックス SE フラッシュタイプ



白仕上

ノックダウン金具はハーフエルの特に得意とする製品分野の中のひとつです。ノックダウン金具とは家具の組み立てや分解が簡単にできるように接合部にとりつける金具です。家具の各パーツは分解できるので省スペースで輸送ができるので経済性に優れており、現場で効率的に組み立てられます。

ハーフエルのノックダウン金具開発の長い歴史のなかでハーフエルはミニフィックス、ラフィックス、マキシフィックス、タブ、ワンフィックス等数多くのコネクター製品を開発し、市場に受け入れられてきました。そのなかで日本市場において最も支持されているのはラフィックス SE



のフラッシュタイプです。この製品の最大の特徴は①穴加工がシンプルなので工場の加工が容易、②現場での組立がドライバー一本で行えるため現場作業の効率アップが図れる、③ケーシングを板にフラッシュに打ち込めるので、板を緩衝材なしで積み重ねて保管、輸

送ができるという点で、一戸建てやマンションの造りつけ家具など幅広く利用されています。「ラフィックス SE フラッシュタイプ」は今後も更にご愛顧いただき、その高い施工性において日本の家具業界に貢献できればと願っています。

2007年ユニバーサル技能五輪国際大会レポート



2007年11月静岡県で「技能五輪国際大会」「国際アビリンピック」が大会史上初めて同時開催されました。その中で「第39回技能五輪国際大会」は、22歳以下の各国・地域の1000人を超える青少年技能者が81余りの部門で世界を目指し、もてる技能を競いました。今大会ではハーフェレジャパンが日本総輸入元として取り扱っているFESTOOLが公式なサプライヤーとして競技に使用されました。

各国の選手たちによる一流の技を一堂に見ることができ、改めてモノ作りの素晴らしさに触れる事ができました。日本は金メダル16（最多）・銀メダル5・銅メダル3ヶを獲得し総合で準優勝、総合優勝は韓国で金メダル11・銀メダル10・銅メダル6ヶを獲得。3位はスイスで合計16ヶ獲得でした。日本のモノ作りの技術の高さ、その継承をしていく為にもこの大会はいい機会だと思います。会場には29万人もの来場者があり、各競技会場は大変にぎわっていました。

圧巻は、家具製作・建具・建築大工の各部門でFESTOOL木工工具が勢揃いしていたことでした。ルーター・丸ノコをはじめとする電動工具、CMSコンパクトモジュールシステム、新型スライディングマイターソー、システナー、集塵機などがほとんどの国の競技者達により使われていました。



加工精度の高さ、使い易さ、安全性、そして高い集塵機能による清潔さが評価された結果と思われます。あらためて、世界中の技術者に長年使用され続けている歴史がうかがえました。



【建具競技の様子】



【車体塗装競技の様子】

車体のサンディングとポリッシングの工程に、FESTOOL工具が使用されました。

サンディングには空気圧サンダーと粉塵の舞いを最小限にするための集塵機に連動させて行います。最後にギアアクションポリッシャーで磨きの仕上げを行います。



日本組織委員会からの感謝状

FITTINGS AND ARTS

## 金物とアート

ハーフェレジャパンの最終目標は人々が美しく、安全な環境の中で生活を永く楽しむようにすることです。また、お客様の個々の目的を実現することも私たちの目的でもあります。

お客様に提供している環境と同じ環境下で私たちのスタッフも仕事をすべきであると考えています。2002年、ハーフェレジャパンは横浜市東戸塚に最新の施設を開設しました。広く明るいオフィス、ショールームスペース、そして自動倉庫設備が備えられています。ハーフェレジャパンによって設計、所有している施設です。

オフィスには山口晃という画家の「芝大塔 建立乃圖」という絵が飾られています。山口晃は日本画の技法や伝統的発想と現代的発想、また漫画的なトピックスを織り交ぜた独自のスタイルで近年ますます有名になってきた画家です。三越デパート、六本木ヒルズ、成田空港などから制作を依頼され、アート雑誌「プリンツ21 2008 春号」にも彼の作品が特集として掲載されています。



山口晃の作品

す。彼の作品には近代的な建物と伝統的な建物が混在し、そのスタイルはハーフェレジャパンが提案する建築金物へのアプローチと良く一致すると考えます。

また、ハーフェレジャパンが支援しているスウェン・イングマル・ティースというドイツ人写真家は「日本人の部屋」(<http://www.kaitenart.com/>)という写真集を出版しました。彼は東京から上海、ニューヨーク、ベルリン、ウィーンそして再び東京と、この10年間の人生を旅に費やしました。この旅で彼は数え切れない程の日本人の友人や様々な日本人の家を訪れました。そして、都市で彼らがどのように生活しているかを写真に収めました。それらの写真は新しい都市環境が私たちのライフスタイルにどのような影響を与えるかということ

を考えさせてくれています。そして、どこに住んでいようとも、人々には決して変えることのない習慣が必ずあるということを示しているのです。



スウェン・イングマル・ティースの作品

ハーフェレジャパンは機能性の高い家具及び建築用金物を取り扱っていることで知られていますが、私たちが販売している製品の形や色、手触りなどその美しさに関してはしばしば見落とされがちです。美しさは大きく、目立つ高価なものの中だけではなく、日常のなかで小さく見落とされがちな物の中にも見出せます。この二人のアーティストとの協力によって、私たちはこのつながりをさらに明らかにしていきたいと思えます。

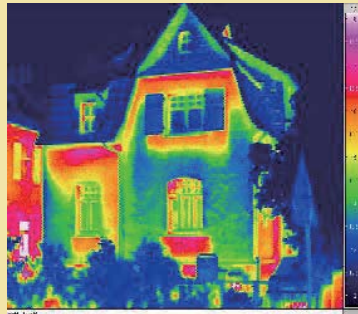
## SEASON'S GREETING FROM GERMANY



最近、寒さもいよいよ深まり、暖房が必需品である季節だということに灯油やガソリンの値上がりが続く皆さん頭をいためていることと思います。これまで環境先進国ドイツのエコ事例としてゴミ分別のケースなどを紹介してきましたが、ドイツの省エネに関してはどうでしょうか。

ドイツでは政府主導のもと省エネハウスの実現にむけて様々な技術開発が行われています。建材は外断熱をはじめ、本当に様々な断熱効率を高める建材が発売されています。断熱効果を低下させる窓ガラスは4重にしたりすることは一般的ですが、さらに2重ガラスの中に暖房システムを組み込んだガラス板が開発されたりしています。これにより暖房費用を5-10%程度削減できるということです。また、改築・改修工事が建築工事全体の8割ほどをしめるだけあって現在建っている建物のどこから熱が逃げているのかということをチェックする技術もいくつも開発されています。建物の中に煙を充満さ

せ一定の圧力をかけることによって煙が逃げ出ていく場所を発見したり、建物をサーモグラフィーにかけ熱の放出場所を特定させたりとあの手この手で一度温めた空気を逃がさない方法を考えています。



また交通の面でも自家用車の利用を減らす試みが行われています。通勤や通学での自家用車利用を抑制する理由から環境定期券というようなものが様々な都市で発売されています。電車やバスなどその都市の周辺の公共交通機関が乗り放題となるだけではなく、夜間や休日など所有者以外も一緒に利用できたり、他人に貸し借り自由だったり



と、「できるだけ多くの人に公共交通機関に乗ってもらいたい」との趣旨が感じられます。

そして2008年1月1日から3都市で環境ゾーンの導入を開始しました。これは自動車から排出される粉じんなどによる大気汚染の抑制対策で順次他の都市にも導入されていく予定です。この環境ゾーン内には赤、黄、緑の自動車整備工場や検査・承認機関などで取得できる適合ステッカーを表示している自動車以外は通行できなくなります。もし、ステッカーなしで通行してしまうと罰金を科せられてしまいます。古いディーゼル車などの排ガスの多い車はこのゾーン内には入れなくなるといふしくみです。